

## 中央大学特定課題研究費 ー 研究報告書 ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	山田昌弘		
NAME	Yamada, Masahiro		

## 1. 研究課題

（和文）メディアに表現された家族像の実証研究

（英文）On the sturdy of the images that appear in media

## 2. 研究期間

2年間（2018-2019年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

日本では、家族の多様化が言われている。その中で、映画、マンガ、ドラマなどで、マスメディアに描かれた家族像も多様化している。それらは、現実を反映し、また、先導しているという仮説の元、近年の家族を描いたメディア資料のドキュメント分析を試みた。

その結果、日本では、1980年頃までは、結婚を目的とした恋愛関係が描かれることが多かった。これは、恋愛結婚の普及と共に、1980年ごろまでは、リアルな対象との恋愛を描く映画、ドラマが多かった。また、1980年代から1990年代のバブル期にかけては、恋愛自体を楽しむ形の映画、ドラマが数多く作られた。

しかし、2000年代に入るにつれ、現実の恋愛が衰退すると共に、ドラマや映画においてリアルな恋愛が描かれることが少なくなり、バーチャルな対象との恋愛を描くもの、あり得ないシチュエーションを描くものが主流になっていることがわかった。

（英文）

It is said that Japanese family become diverse. I analyzed family images depicted by Japanese medias (movies, TV dramas, comics and novels).

It is revealed that before 1980's the medias gave pictures of the romantic love relationships leading marriages, but after 2000, medias often have depicted the virtual love relationships that cannot occur in real world.